

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成24年5月17日(2012.5.17)

【公開番号】特開2009-274437(P2009-274437A)

【公開日】平成21年11月26日(2009.11.26)

【年通号数】公開・登録公報2009-047

【出願番号】特願2009-79858(P2009-79858)

【国際特許分類】

B 41 J 2/01 (2006.01)

【F I】

B 41 J 3/04 101Z

【手続補正書】

【提出日】平成24年3月27日(2012.3.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1のインクを吐出するための第1吐出部と前記第1のインクとは異なる種類の第2のインクを吐出するための第2吐出部とを有する記録ヘッドを記録媒体に対して相対的に走査させながら記録媒体に画像を形成するインクジェット記録装置であって、

前記記録媒体の画素列を複数列含む領域に前記記録ヘッドの複数回の走査による記録により前記第1および第2のインクによる画像を形成する際に、前記第1のインクによって形成すべき画像は前記記録媒体の単一の画素列の画像を1回の前記走査で完成させる第1記録を行い、前記第2のインクによって形成すべき画像は前記記録媒体の単一の画素列の画像を複数回の前記走査で完成させる第2記録を行うことによって、前記記録媒体に前記第1および第2のインクによる画像を形成するための手段と、を備え、

前記第2のインクの前記第2の記録によるベタ画像における光沢度は、前記第1のインクの前記第2の記録によるベタ画像における光沢度よりも高いことを特徴とするインクジェット記録装置。

【請求項2】

前記第1のインクは1色のインクであり、前記第2のインクは複数色のインクであることを特徴とする請求項1に記載のインクジェット記録装置。

【請求項3】

前記第1のインクは複数色のインクであり、前記第2のインクは1色のインクであることを特徴とする請求項1に記載のインクジェット記録装置。

【請求項4】

前記第1のインクは複数色のインクであり、前記第2のインクは複数色のインクであることを特徴とする請求項1に記載のインクジェット記録装置。

【請求項5】

第1のインクを吐出するための第1吐出部と前記第1のインクとは異なる種類の第2のインクを吐出するための第2吐出部とを有する記録ヘッドを記録媒体に対して相対的に走査させながら記録媒体に画像を形成するインクジェット記録装置であって、

前記記録媒体の単一の画素列領域に前記第1および第2のインクによって形成すべき画像を1回の前記走査で完成させる第1記録モードと、前記記録媒体の単一の画素列領域に前記第1および第2のインクによって形成すべき画像を複数回の前記走査で完成させる第

2記録モードとを選択するための選択手段を有し、

前記選択手段は、前記画像を形成するために使用される第1のインクの量が第2のインクの量よりも多い場合には前記第1記録モードを選択し、前記画像を形成するために使用される第2のインクの量が第1のインクの量よりも多い場合には前記第2記録モードを選択し、

前記第2のインクの前記第2の記録によるベタ画像における光沢度は、前記第1のインクの前記第2の記録によるベタ画像における光沢度よりも高いことを特徴とするインクジェット記録装置。

【請求項6】

前記第1のインクが、前記第2のインクよりも前記画像を形成するために使用されるインク量が多いか否かの判断は、前記第1のインクのドット数と前記第2のインクのドット数を比較することにより行なうことを特徴とする請求項5に記載のインクジェット記録装置。

【請求項7】

第1のインクを吐出するための第1吐出部と前記第1のインクとは異なる種類の第2のインクを吐出するための第2吐出部とを有する記録ヘッドを記録媒体に対して相対的に走査させながら記録媒体に画像を形成するインクジェット記録方法であって、

前記記録媒体の画素列を複数列含む領域に前記記録ヘッドの複数回の走査による記録により前記第1および第2のインクによる画像を形成する際に、前記第1のインクによって形成すべき画像は前記記録媒体の単一の画素列の画像を1回の前記走査で完成させる第1記録を行い、前記第2のインクによって形成すべき画像は前記記録媒体の単一の画素列の画像を複数回の前記走査で完成させる第2記録を行うことによって、前記記録媒体に前記第1および第2のインクによる画像を形成するための工程と、を備え、

前記第2のインクの前記第2の記録によるベタ画像における光沢度は、前記第1のインクの前記第2の記録によるベタ画像における光沢度よりも高いことを特徴とするインクジェット記録方法。

【請求項8】

第1のインクを吐出するための第1吐出部と前記第1のインクとは異なる種類の第2のインクを吐出するための第2吐出部とを有する記録ヘッドを記録媒体に対して相対的に走査させながら記録媒体に画像を形成するインクジェット記録方法であって、

前記記録媒体の単一の画素列領域に前記第1および第2のインクによって形成すべき画像を1回の前記走査で完成させる第1記録モードと、前記記録媒体の単一の画素列領域に前記第1および第2のインクによって形成すべき画像を複数回の前記走査で完成させる第2記録モードとを選択するための選択工程を有し、

前記選択工程は、前記画像を形成するために使用される第1のインクの量が第2のインクの量よりも多い場合には前記第1記録モードを選択し、前記画像を形成するために使用される第2のインクの量が第1のインクの量よりも多い場合には前記第2記録モードを選択し、

前記第2のインクの前記第2の記録によるベタ画像における光沢度は、前記第1のインクの前記第2の記録によるベタ画像における光沢度よりも高いことを特徴とするインクジェット記録方法。

【請求項9】

第1のインクを吐出するための第1吐出部と前記第1のインクとは異なる種類の第2のインクを吐出するための第2吐出部とを有する記録ヘッドを記録媒体に対して相対的に走査させながら記録媒体に画像を形成するインクジェット記録装置による記録の実行を定めるプログラムであって、

前記記録装置は、前記記録媒体の単一の画素列の画像を1回の前記走査で完成させる第1記録と、前記記録媒体の単一の画素列の画像を複数回の前記走査で完成させる第2記録と、をインクの種類に応じて実行可能であり、

前記第2のインクの前記第2の記録によるベタ画像における光沢度は、前記第1のイン

クの前記第2の記録によるベタ画像における光沢度よりも高く、

前記記録媒体の画素列を複数列含む領域に前記記録ヘッドの複数回の走査による記録により前記第1および第2のインクによる画像を形成する際に、前記第1の吐出部は前記第1の記録を行い、前記第2の吐出部は前記第2の記録を行うこと定めることを特徴とするプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

上記目的を達成するために本発明は、第1のインクを吐出するための第1吐出部と前記第1のインクとは異なる種類の第2のインクを吐出するための第2吐出部とを有する記録ヘッドを記録媒体に対して相対的に走査させながら記録媒体に画像を形成するインクジェット記録装置であって、前記記録媒体の画素列を複数列含む領域に前記記録ヘッドの複数回の走査による記録により前記第1および第2のインクによる画像を形成する際に、前記第1のインクによって形成すべき画像は前記記録媒体の単一の画素列の画像を1回の前記走査で完成させる第1記録を行い、前記第2のインクによって形成すべき画像は前記記録媒体の単一の画素列の画像を複数回の前記走査で完成させる第2記録を行うことによって、前記記録媒体に前記第1および第2のインクによる画像を形成するための手段と、を備え、前記第2のインクの前記第2の記録によるベタ画像における光沢度は、前記第1のインクの前記第2の記録によるベタ画像における光沢度よりも高いことを特徴とする。